

うなやま整形外科
業種：医療・介護業
従業員規模：11～50人

業務プロセスの効率化

サプライチェーン

発注管理の自動化で作業効率を改善し、従業員の負担を軽減

課題内容

- 整形外科を営んでいるが、在庫・発注管理業務に負担があり課題を抱えていた。
- ・ 週1回、2～3人で3～4時間かけて在庫を紙に記載して確認を行い、既存の発注システムでバーコードを読み込んで発注していた。
- ・ 診療後、発注管理作業のために残業が発生し、発注締切のプレッシャーや誤発注のリスクがあった。
- ・ 在庫の消費量が患者の症状や季節によって大きく変動するため、在庫切れのリスクがあり、緊急取り寄せや他のメーカーへの確認が必要になることがあった。
- ・ 院内の業務効率化を試みたが、手作業の業務も多く、パソコンを使いこなせる人が限られており効果が出なかった。

実施概要

- 在庫管理システムを導入し、重さで在庫管理や発注業務を自動化することができるスマートマットを使用して実在庫データを記録した。
- スマートマットで在庫消費量の変動に応じて発注量を調整し、閾値を超えるとアラートが表示され発注を行った。
- スマートマットを使用していない在庫は手動発注機能を使用して入力を行い、約160点の在庫を管理画面で確認した。
- 在庫切れや誤発注を防ぐために、物品のバーコードを読み込み在庫情報や有効期限・ロット情報の登録を行った。

効果

- 月20時間かかっていた在庫・発注管理の時間が約7割減少した。
- 在庫・発注管理に関わるスタッフの数を減らし、他の業務を行うことができるようになった。
- 発注締切のプレッシャーや誤発注のリスクがなくなり、スタッフの心理的な負担が軽くなった。また、狭い倉庫で無理な体勢での作業がなくなり、身体的な負担も軽減された。
- 在庫切れや過剰在庫の問題が解消されるとともに、在庫の種類やサイズ別に正確に管理できるようになった。

ITツール

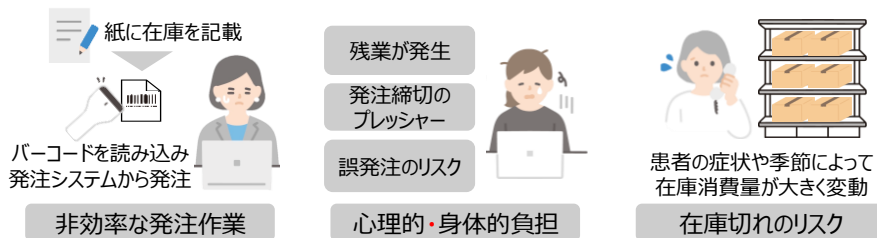
【使用ツール】スマートマットクラウド <https://www.smartmat.io>
【取り扱い企業】株式会社スマートショッピング <https://smartshopping.co.jp>
【ツール概要】重さで数を数えるIoTを使用した新しい在庫管理サービス



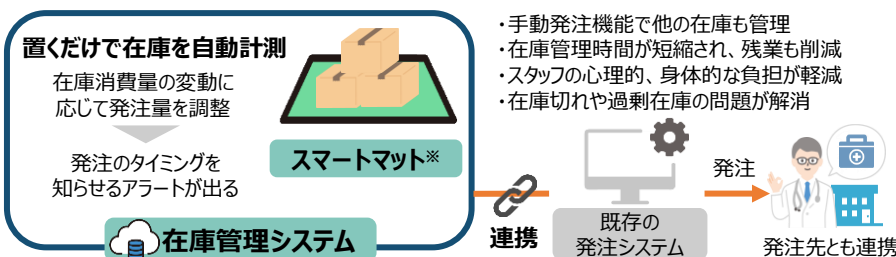
Point

- ・在庫管理システムの導入により在庫・発注管理が自動化
- ・在庫管理にかかる時間が約7割減少し、人件費を削減
- ・誤発注のリスクがなくなり、スタッフの心理的負担が軽減

【導入前】紙で在庫管理を行うことで、
残業の発生や心理的負担や在庫切れのリスクがあった



【導入後】重量による在庫管理の自動化で
在庫・発注管理業務を効率化し、スタッフの負担軽減



作業時間
人件費の削減

労働環境の改善

在庫管理の適正化

※ スマートマット:置くだけで在庫数を計測できる在庫管理自動化IoT機器

補助金活用

—